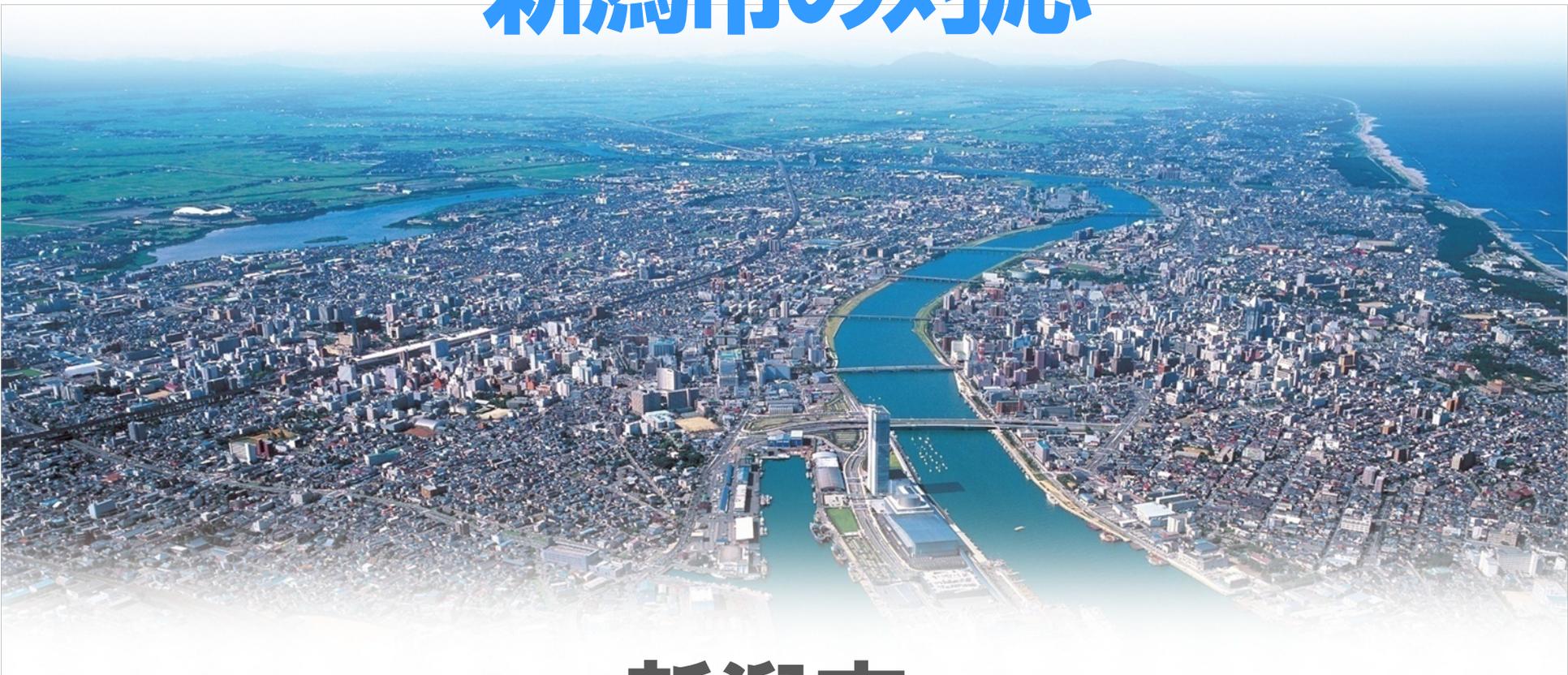




東日本大震災における 新潟市の対応



新潟市

2011.5.26



新潟市の支援の基本方針

新潟地震の経験や、中越・中越沖地震への支援など、**地震災害復旧の経験と技術の蓄積を活かし、市民・ボランティア・民間事業者と連携して、迅速で力強い支援をおこなう**

支援の3本柱

- 職員の派遣
- 物資の支援
- 避難者の受け入れ



ボランティアによる支援物資積込



(1) 新潟市の地震発生直後の対応

3月11日(発生当日)

- 14:46 **新潟市警戒本部 設置**
- 16:00 市消防局 先遣隊派遣
- 16:45 市民病院 DMAT出発
- 19:00 危機管理防災課 先遣隊出発
- 23:25 水道局 先遣隊出発



3月12日(発生翌日)

- 00:35 **危機管理防災課先遣隊 仙台市内到着**
- 06:20- 建築部・土木部・下水道・水道局 仙台市役所に到着
- 07:30 毛布, 粥, スティックパンを積載し出発
- 11:10 毛布10tトラック2台出発
- 21:20 ペットボトル水2,433本(4,866ℓ)を積載し出発
- 21:30 パックごはん15,000食を積載し出発



(1)-1 職員の派遣(人的支援)

仙台市への派遣

- ・先遣隊、各業務分野職員
- ・避難所運営支援職員

→延べ**8,380人**の職員を派遣(5月26日現在)

※業務分野別派遣内訳はP14・15参照



出発式

迅速かつ力強い支援

■地震発生当日中に先遣隊を派遣

→仙台市長「まさか**翌日未明**に来てくれるとは」

■1日最大の支援派遣は352人(3月20日)

→新潟県及び県内市町村の派遣職員の**約7割**



市消防の救助・支援活動

○石巻市での救助活動

- ・96時間ぶりの生存者救出にも関わる



○海水利用型 消防水利システム による支援活動

- ・宮城県気仙沼市において火災防ぎよ活動で大量送水作業を3日間実施
- ・その後宮城県石巻市の浸水区域で排水作業を実施



(1)-2 物資の支援(物的支援)

仙台市への支援



■ 支援物資

- ・ 食料(アルファ化米・パックごはん・おかゆなど)
- ・ 保存水、粉ミルクや哺乳瓶
- ・ 毛布、おむつ など ※支援物資内訳はP16参照

きめ細かい支援

■ アレルギー対応食・低タンパク米飯の提供

■ 環境・給水支援

- ・ ごみ収集車・民間バキューム車の派遣
- ・ 給水車の派遣





福島原発対応のため大型除染システム・消防ポンプ車の貸与



総務省消防庁の要請により
福島原発での利用のため、
東京電力へ大型除染システム
搭載車と消防ポンプ車を
貸与





(1)-3 避難者の受け入れ

避難所の開設



4避難所を開設 避難者数 219人(5月26日現在)
※ピーク時3,912人(帰国待機者含む)

- ・豊栄総合体育館(北区)
- ・新潟市体育館(中央区)
- ・亀田総合体育館(江南区)
- ・西総合スポーツセンター(西区)

↳ 4/26閉鎖

※避難所以外に約630人避難

スクリーニング検査

福島第一原発の避難区域等(半径30km圏内)からの避難者に対して放射性物質の付着の有無の確認を実施

- 新潟市総合保健医療センター(中央区)
※3月中は、新潟テルサで**24時間体制**で実施





生活支援

住宅

■市営住宅の空き室を120戸提供

- ・期間:6か月(事情により6か月延長可)
- ・使用料:全額免除(共益費・光熱水費は本人負担)

■民間賃貸住宅の仲介手数料を無料に



就学支援

■小中学校の転入学の受け入れ 計153人(5月26日現在)

弱者対策

■高齢者・障がい者・乳児等対応のため福祉避難所を開設

- ・老人福祉センター黒埼荘 3月17日開設し寝具・食事提供(5/5閉鎖)



生活支援

避難所における診療

- 市医師会・市歯科医師会・市薬剤師会などの協力による巡回診療・健康相談などを実施



生活相談

- 生活資金の相談
 - ・緊急小口資金(社会福祉協議会)、生活保護相談(福祉事務所)
- こころのケアホットラインの開設(県と協働)

市以外の生活相談の紹介

- 法律相談(県弁護士会)
- 就労相談(ハローワーク・労働基準監督署)
- 就労者等の心のケア(新潟産業保健推進センター・メンタルヘルス対策支援センター)



その他の支援

公共施設等の割引など

■ 公共施設入館無料など施設利用サービスや支援行事の実施など

- ・市水族館(送迎バス有り)、市美術館、會津八一記念館
歴史博物館の入館無料や図書館書籍貸し出し
- ・入浴施設の提供・利用料割引
- ・復興支援お花見コンサート
- ・ラ・フォル・ジュルネ新潟2011招待





地域あげての支援

市民の支援物資

- 3月19日～21日 新潟JC・市社協・市受付
・毛布約**2,000枚**、その他約**40トン**分の物資
- 3月24日～4月30日 市社協・市受付
・生活衛生用品や食料品など約**80,000点**

市民ボランティア

- 市内避難所の運営支援、子どもたちの世話や支援物資の受付・仕分けなどさまざまな活動
・約**2,000人**がボランティア登録

広がる支援の輪

- 市民・事業者などによる食事、日常生活、情報提供サービスや安らぎ・憩いを感じていただける様々な支援 ※主な内容はP17・18参照



(5) 今後の課題

避難所で過ごされている方の生活が長期間にわたっており、今後も継続することが予想されることから…

- ◆ 公営住宅や民間アパート、旅館・ホテル等の提供による生活環境の改善
- ◆ 避難者の生活の安定を図るための雇用対策支援



人的支援の内訳

5月26日現在

所属	支援内容	派遣者数
危機管理防災課	総合情報収集・派遣職員支援	169人
消防局	緊急消防援助隊	2,183人
水道局	給水支援・応急復旧	755人
土木・下水・建築部	被害調査・応急危険度判定	601人
全庁	避難所支援・職員搬送	3,243人
市民病院	災害派遣医療チーム	142人
健康衛生関係	保健師派遣	257人



人的支援の内訳

所属	支援内容	派遣者数
環境部	ごみ・し尿収集	487人
教育委員会	子どもの心のケア	136人
全庁	家屋被害調査	345人
全庁	ケースワーカー・手話通訳	48人
都市政策部	災害情報活用支援	14人
	計	8,380人



支援物資の内訳

平成23年4月1日現在

食料など

・スティックパン	6,367食
・パックごはん ※	85,000食
・お粥	5,889食
・アルファ化米	45,400食
・水(2リットル)	3,582本
・水(500ml)	11,904本
・かんぱん	360食
・粉ミルク	285リットル
・粉ミルク(缶) ※	1,768缶
・粉ミルク(箱) ※	11箱
・低タンパク米飯 ※	2,910食
・アレルギー対応食	1,110食

※印は民間調達

食料以外の物資

・毛布	10,333枚
・哺乳瓶	386本
・哺乳瓶消毒剤	3,444錠
・おむつ	12,466枚
・大人用おむつ	1,074枚
・尿取りパッド	4,020枚
・生理用品	33,652枚



地域あげての支援

広がる支援の輪

- ◆市民団体・民間団体・企業等による食事・菓子・飲料や炊き出しのほか老人・乳児へのおかゆの提供など、多数
- ◆理美容組合などによるカット、シャンプー・サービス
- ◆クリーニング店による洗濯サービス
- ◆企業からの家具、座布団や携帯電話充電器などの提供
- ◆市民・市民団体等からのトイレットペーパーや紙おむつなどの提供
- ◆通信業者によるインターネット端末・テレビの設置
- ◆地元紙・全国紙による新聞提供
- ◆花屋による避難所装飾花の提供
- ◆映画館の映画鑑賞サービス
- ◆市内中高生の合唱、吹奏楽訪問コンサートや公演招待



地域あげての支援

広がる支援の輪

- ◆市民団体、企業等による各種コンサート・演奏会・イベントの実施・招待
- ◆自衛隊、市消防局ブラスバンド訪問コンサート
- ◆りゅーとぴあコンサート出演者などによる避難所訪問コンサート
- ◆大学生、学習塾講師等による小中学生を対象とした勉強会
- ◆学校・教材販売会社による辞書・参考書・教材の提供
- ◆ボランティアによる傾聴・話相手・代筆・代読
- ◆市民、県内外者からの絵本・マンガなどの提供
- ◆市民サークル・地元大学などによる子ども向けの遊び・ゲーム
や絵本読み聞かせ

このほか多くの支援が寄せられています